

海洋理工学会 2023 年度 春季大会プログラム

6 月 8 日(木) 13:00-17:30(12:00 受付開始)

シンポジウム「ブルーカーボンとその計測技術」

- 13:00-13:40 基調講演 ブルーカーボン定量化に向けた新しい計測手法とその応用
桑江 朝比呂 (港空研&ジャパンプルーエコノミー技術組合)
- 13:40-14:10 S1. 観光船による海水 pCO₂ 測定
永沼 元・杉山 貴紀・藤井 武史・北尾 隆・後藤 浩一 (株式会社 KANSO テクノス)
- 14:10-14:40 S2. 環境研の海洋 CO₂ 観測体制
所 立樹 (国立環境研究所)
- 14:40-15:10 S3. ブルーカーボン生態系の観測に向けた新たなドローン計測技術とその適用事例
富井 隆春 (株式会社 アミューズワンセルフ)
- 15:10-15:30 休憩【賛助会員 7 企業展示コアタイム (会場:天王星)】
- 15:30-16:00 S4. グリーンレーザーによる藻場等の浅海域情報の取得事例と課題
壱岐 信二・市橋 理・藪内 哲郎 (アジア航測株式会社)
- 16:00-16:30 S5. ブルーカーボンのリモートセンシングによる定量化の可能性および、
各種生態系サービスとの全国スケールでの関係性
山北 剛久 (海洋研究開発機構)
- 16:30-17:00 S6. 衛星による日本周辺の流れ藻観測の実情と問題点
作野 裕司 (広島大学)
- 17:05-17:30 総合討論
コンビーナー 茂木 博匡 (港空研)
パネリスト シンポジウム講演者
ゲストコメンテーター 青山 紘悦 (国土交通省 港湾局)

賛助会員による企業展示:

JFE アドバンテック(株)、(株)ゼニライトブイ、ミサゴ(株)、(株)アクアサウンド、鶴見精機(株)、
(有) リーフ、(株)スペースエンターテイメントラボラトリー (計 7 社)

6月9日(金) 13:20 - 17:10(12:30 受付開始)

一般講演

13:20-14:20 画像解析技術

- A1. 高周波超音波と3次元ニューラルネットワークによるアサリの検出方法の基礎的検討
☆ 小野里 祥吾・水野 勝紀・多部田 茂 (東京大学)、寺山 慧 (横浜市立大)、鷺山 裕史・上原 陽平 (静岡県 水産・海洋技術研究所 浜名湖分場)、斎藤 禎一・岡本 一理 (MaOI 機構)、阪本 真吾・杉本 裕介 (ウィンディネットワーク社)
- A2. Semantic Segmentation of seafloor images in Philippines based on semi-supervised learning.
☆ 王姝蕾・水野 勝紀・多部田 茂 (東京大学)、寺山 慧 (横浜市立大学)
- A3. 海洋生態系分布の把握に向けたリモートセンシング活用の試み～藻場を例として～
○ 林 正能・塚本 浩貴 (SAT)、寺内 元基 (NPEC)、石坂 丞二 (名大 ISEE)

(14:20-14:30 休憩・換気)

14:30-15:30 計測技術開発

- A4. 海底電磁場観測データの高品質部の抽出方法
☆ 黒田 真奈加 (名大)、後藤 忠徳 (兵庫県立大)、市原 寛 (名大)、松野 哲男 (神戸大)、笠谷 貴史 (JAMSTEC)
- A5. XCTD プローブの復号処理改善と分解能向上の取り組み
○ 谷澤 一宏 (株式会社 鶴見精機)
- A6. 低コスト NDIR を用いた海洋 pCO₂ センサーの開発
○ 鶴島 修夫 (産総研環境創生)、木下 勝元・岩本 篤志・村田 周司・紀本 英志 (紀本電子工業)、三木 周 (日本エヌ・ユー・エス)

(15:30-15:40 休憩・換気)

15:40-16:40 海洋物理・生態系解析技術

- A7. 陸域コンクリートガラを用いた藻場等の造成によるカーボンニュートラル化の検討
☆ 大原 緋奈乃・白井 知輝・有川 太郎 (中央大学)
- A8. ARMOR3D を用いた黒潮続流の三次元的なエネルギーの変動特性
☆ 萩谷 絃希・植原 量行 (東海大海洋学研究所)
- A9. 伊勢湾海域を対象とした低次栄養段階生態系モデルと結合したイカナゴ生活史モデルの開発
☆ 丸尾 哲平・田口 浩一・市川 哲也・濱崎 真美 (㈱サイエンスアンドテクノロジー)、橋口 晴穂・安武 由矢・今尾 和正 (㈱日本海洋生物研究所)、鈴木 輝明・中田 喜三郎・田中 義人 (名城大学)

16:45-16:50 優秀発表賞 表彰(☆発表者が対象者)

16:50-17:05 学会賞表彰式

17:05-17:10 閉会